

#みんコン

みんなで放送コンテスト2020 要 項

- ・ アナウンス
- ・ 朗 読
- ・ テレビ [ドキュメント・ドラマ]
- ・ ラジオ [ドキュメント・ドラマ]
- ・ 脚 本

第1稿

2020.05.09

みんなで放送コンテスト2020実行委員会

みんなで放送コンテスト 2020 実施要項

目次

開催要項	・・・ 1～2
規定および審査	
アナウンス・朗読部門について	・・・ 3
アナウンス部門	・・・ 4
朗 読 部 門	・・・ 5
アナウンス・朗読部門 審査基準について	・・・ 6～9
番組部門について	・・・ 10～11
テレビドキュメント部門	・・・ 12
ラジオドキュメント部門	・・・ 13
テレビドラマ部門	・・・ 14
ラジオドラマ部門	・・・ 15
脚本部門	・・・ 16
エントリーおよび提出書類の記入について	
エントリー	・・・ 準備中
アナウンス・朗読部門書類	・・・ 準備中
著作物申請書	・・・ 準備中
簡易 CUE シート	・・・ 準備中
取材承諾書	・・・ 準備中
キャラクター設定表	・・・ 準備中

公式Webサイト
<https://lovebc2020.jpn.org/>



#みんコン

[Twitter]
@lovebc2020



[Instagram]
@lovebc.2020



みんなで放送コンテスト 2020 開催要項

1. 目的

「高校放送Nコン中止を乗り越える、集大成の場を設ける」

新型コロナウイルスの影響により2020年度NHK杯全国高校放送コンテストが中止された今、放送部活動の集大成を見せる場を失う高校生たちが大勢います。放送部に所属する現役の生徒たちに評価・発表の場を設けることがこの大会の目的です。

この大会は現役生、OB、OG が主催する営利目的のない大会です。公的な団体(全国放送教育研究会連盟等)との関わりはありません。また非公式な大会ですので受賞しても公的な書面(内申書、履歴書等)では一切の効力を発揮しません。
大会のための活動をする際、3密を避けた行動を徹底的に実施することを約束します。

2. ねらい

このコンテストのねらいは高校生同士が放送部活動の中で培った技術や能力を競い、高め合うことです。さらに外出できない今だからこそ伝える姿勢を忘れないでほしいというねらいもあります。

3. 主催

みんなで放送コンテスト 2020 実行委員会

4. コンテストの各部門

- (1) アナウンス
- (2) 朗読
- (3) テレビドキュメント
- (4) ラジオドキュメント
- (5) テレビドラマ
- (6) ラジオドラマ
- (7) 脚本

5. 表彰

アナウンス・朗読部門

優勝	各部門1名
準優勝	各部門1名
優秀賞	各部門3名
優良賞	各部門7名
※参加人数により変動あり	

番組部門

最優秀賞	各部門1作品
優秀賞	各部門3作品
奨励賞	各部門6作品
※参加人数により変動あり	

6. 大会名

「みんなで放送コンテスト 2020」

7. 日程

2020年5月中旬	エントリー開始
6月上旬	提出書類に関する情報を確定、参加者に情報を送信
7月1,2週	提出締め切り
7月最終週～8月上旬	大会開会
8月末	大会終了

8. 参加資格

下記に在籍する生徒が参加資格を持つこととします。

- ・高等学校及び中等教育学校後期課程
- ・特別支援学校の各高等部
- ・高等専門学校（第3年次までの生徒）
- ・専修学校及び各種学校（就業年数が高등학교と一致していること）

上記の参加資格に限定した理由

中学生の参加に関して、高校生との間に大きな技術の差があることを鑑み、平等に評価することは難しいと予想されるため、参加対象とするのを断念しました。

大学生の参加に関して、2020年4月現在2020年度 NHK 杯全国大学放送コンテストが開催される予定で大学生の活動の場は確保されている状況であるため、参加対象とするのを断念しました。

9. 大会費用

参加費：無料

気軽に応募してもらうため参加費は無料です。

10. 募集方法

ホームページで公開する応募フォームからデータを提出してもらいます。提出書類も後日ホームページ上にて公開します。

11. お問い合わせ

みんなで放送コンテスト 2020 実行委員会
ホームページ：<https://lovebc2020.jpn.org/>

アナウンス・朗読部門について

1. 参加者

応募は1人1作品のみです。アナウンス部門、朗読部門の両方に参加することはできません。また、参加資格を所有していれば放送部の方でなくても構いません。

2. 審査員

予選審査は各部門の参加者全員で審査を行います。審査するブロックはコンピューターによりランダムで選ばれます。参加人数によってうまく割り切れない場合は、OB・OGの審査員を追加する可能性があります。決勝審査はOB・OG(全国大会入賞者)やアナウンサーの方をお招きして審査を行いたいと考えています。

3. 募集方法

ホームページで公開する応募フォームから音源等を提出してもらいます。原稿テンプレートも後日ホームページ上にて公開します。

4. 審査基準

基本的にNHK杯全国高校放送コンテストの審査基準を基に審査する予定です。
※詳細は審査基準P6をご覧ください。

5. 審査方法

参加者が録音した音源、原稿、課題文(決勝審査のみ)で審査します。

(i) 予選審査

予選審査の内容は本人が作成した原稿です。

参加者はいくつかのブロックに振り分けられ、運営はブロックごとに審査用の音源と参加者の情報を載せた動画を作成

します。動画に載る情報はエントリーナンバー、出身の都道府県、名前(ニックネーム)に加え、アナウンス部門ではリード文、朗読部門では抽出箇所のあらすじです。動画はYouTube上に評価やコメントは見えない設定にして期間限定で公開予定です。(審査を行わなかった場合、ペナルティを課します。)

参加者は出場したブロック以外の動画を1つ視聴し、審査用紙に従って審査します。審査内容はデータで提出してもらいます。(審査基準はP6に記載)

各ブロックで選ばれた12名の参加者が決勝審査に進出します。(参加者の数が規定数に達しなかった場合は、予選審査を省きます。)

(ii) 決勝審査

決勝審査の内容は本人が作成した原稿と運営で用意した課題文です。

審査はYouTubeライブにて生中継の審査を行うか、予選と同様決勝進出者12名のデータを載せた動画を作成しYouTube上に投稿します。決勝審査の講評はそれぞれ決勝進出者本人にデータでお送りします。

6. 提出物

- ・収録音源(ファイル形式は検討中)
- ・音源に対応する原稿
(アナウンス部門はリード文と本文)
(朗読部門はあらすじと本文)

アナウンス・朗読担当 田倉優美
ホームページ: <https://lovebc2020.jpn.org/>

アナウンス部門 規定および審査について

1. テーマ

本大会のアナウンス部門のテーマは

「いま、あなたが伝えたいこと」です。

アナウンスする内容は校内・地域のことに限らず、現在取材可能な題材に関する原稿を自身が作成したものに限りします。

2. アナウンス部門規定

アナウンスのはじめにエントリーナンバーと名前(ニックネーム)を読み上げ、時間はそれらを含め1分10秒以上1分30秒以内に読むことのできる原稿を作成してもらいます。さらに内容を紹介するリード文を200字程度でまとめてもらいます。このリード文は文章のみ提出していただきます。

提出書類は運営で準備するテンプレートに従って作成してもらいます。

取材協力者には後日公開される取材者向けHP見てもらい、連絡先(メールアドレス、電話番号など)を記入すること。

なお、録音音源は無加工の状態で提出して下さい。もしも編集した音源を提出した場合は失格とします。その他の違反等に関してはP6をご覧ください。

リード文について

リード文は直接審査結果に関わることはありませんが、審査で素早い状況把握が求められるなど、円滑に進めるうえで必要であると考えられます。そのためリード文も併せて提出してもらいます。

朗読部門 規定および審査について

1. テーマ

本大会の朗読部門のテーマは

「いま、あなたが伝えたいストーリー」
です。

課題図書を指定せずに、青空文庫に掲載されている文章の中から朗読個所の選定を行ってもらいます。今年度 N コンの課題図書は著作権の問題で除外します。

2. 朗読部門規定

朗読のはじめにエントリーナンバー、名前（ニックネーム）、作者名（訳者名は読まない）、作品名を読み上げ、時間はそれらを含め1分30秒以上2分以内に読むことのできる原稿を作成してもらいます。さらに抽出箇所のあらすじを200字程度でまとめてもらいます。このあらすじは文章のみ提出していただきます。

提出書類は運営で準備するテンプレートに従って作成してもらいます。

なお録音音源は無加工の状態で提出して下さい。もしも編集した音源を提出した場合は失格とします。その他の違反等に関しては別紙にて説明します。

青空文庫について

著作権の消滅した作品や「自由に読んで構わない」とされた作品を集めたインターネット上の図書館のようなサイトです。下記 URL から詳細をご確認ください。

青空文庫:<https://www.aozora.gr.jp/>

抽出箇所のあらすじについて

直接審査結果に関わることはありません。審査員によって作品に関する情報量が違い、審査が平等に行われられない可能性があるため、事前にあらすじを準備してもらいます。

課題本について

現在全国の図書館が閉館し使用することができないなか、課題図書を指定することは難しいと考え、朗読作品はオンラインで閲覧可能な青空文庫から選定してもらいます。

しかし朗読作品として使用してはいけない作品もあるので各自確認しながら抽出箇所を選んでもらうことになります。

アナウンス・朗読部門 審査基準について

みんなコンでは独自の審査基準を取り入れることにしました。この審査基準は基本的に NHK 杯全国高校放送コンテストに則って作成されています。

両部門 100 点方式で審査をします。審査が円滑に進むよう、それぞれの項目で点数の上限を設けました。

以下は審査項目の説明、点数の上限の紹介（カッコ内）です。

<アナウンス部門>

「内容について」が 40 点、「アナウンスの技術について」が 60 点で合計 100 点です。

失格行為

- ・提出物（音源、原稿、リード文）のいずれかが欠けている
- ・提出された原稿と音源との間に本文の相違がみられる
- ・規定時間（1 分 10 秒～1 分 30 秒）が守られていない
- ・特定の個人や団体に対する誹謗中傷、貶める表現がある
- ・音源に何かしらの加工（音声チェンジャー、編集等）があった場合

内容について(全 40 点)

※四角内は減点の詳細

①素材の選び方 (20 点)

取材内容が伝える価値のある情報かどうか判断。

内容の濃さ、原稿の大きな流れや着地点を見る。

同じことを何度も繰り返す、内容が薄い⇒-10

話題がありきたりである⇒-5（この状況下であることを鑑みた上での判断）

調査した努力が見えない⇒-5

（この状況下のため話題による）

②文章表現 (20 点)

日本語のルールをしっかりと把握して原稿を書いているか判断。

1 文の長さや情報量は適切か（1 文 50 字程度）、倒置法等の強調表現の乱用はないか、文末表現は適切か、主語と述語の関係が成立しているか等を確認する。

1 文の中に主述関係が 2 つ以上見受けられる⇒-3～5

主述関係が成り立っていない文あり⇒-5

倒置法など、際立たせる表現法の使い方が適切でない⇒-5

起承転結、序破急などの文章構成が成立していない⇒-5（※内容が伝わる場合は除外）

文末表現（～です等）の重複が多数見受けられる⇒-3（違和感がなければ除外）

固有名詞の使い方のミス（人名：初出フルネーム、2 回目以降苗字＋さん or ニックネーム等の紹介あればニックネーム等。ばらつきが見られなければ OK）⇒-3

全体の展開にまとまりがない⇒-3

5W1H の情報が不足している⇒-5

その他、適切でない日本語表現は-3

アナウンスの技術について(全 60 点)

③発声 (7 点)

声が前に出ているか、響きのある声であるかを判断。

ぼそぼそ声である⇒-5

声のボリュームにばらつきがある(表現として成立していれば除外、環境上の問題だと判断できる場合も除外)⇒-3
声を前に届けようという意識を感じられない⇒-3

④発音 (7 点)

項目名通り、甘噛みや吹かれ等発音の甘さや違和感はないか判断。

甘噛み、吹かれ、発音できていない等、違和感あれば各⇒-2

⑤アクセント (7 点)

アクセント辞典を確認しながら正しいアクセントか判断。

アクセントの間違いがあれば各⇒-2

⑥内容把握 (9 点)

文章を把握して読むことができているか判断。

アナウンスを聞いて画を想像できるかを基準に評価する。

原稿内の動き(映像)を全く想像できない⇒-6

原稿内の動き(映像)が途中でちぐはぐになる⇒-3~5

⑦テンポ (8 点)

読む速度が適切かどうか判断。

読むテンポが明らかに早い or 遅いため、聞き取れない⇒-8

読むテンポがやや早い or 遅いと感じ、違和感がある⇒-5

一部読むテンポが早すぎる or 遅すぎる⇒-3

⑧イントネーション (7 点)

「始高終低」「頭高尾低」「読み下し」ができているか判断。

文中でうねったり、何度も高い音で入り直したりするのは基本 NG。

始高終低が完全にできていないと判断できるもの⇒-6

うねりが多数見られる場合⇒-5

文中何度も高い音で入りなおす⇒-4 (違和感なければ除外)

一部うねりがあった場合各⇒-1

⑨ポーズの取り方 (8 点)

適切な間があるかを判断。

情報が把握できるか、内容が理解できるか、相槌が打ちやすいかどうか等で確認する。

ポーズが全くない⇒-7

ポーズが足りない or ありすぎると感じる箇所が多数見受けられる⇒-5

ポーズが足りない or ありすぎると感じる箇所が一部ある各⇒-1~2

ポーズはあるが、情報をかみ砕くのに適切な間でない、相槌を打ちづらいような間である⇒-3~5

⑩プロミネンス (7 点)

重要な言葉が強調されているか判断。

原稿中のキーワード(固有名詞)がわかるか、重要でない部分が捨てられているかを確認する。

固有名詞、原稿においてのキーワードが強調されていない、伝わらない⇒
-6
一部強調欠けている各⇒-2

<朗読部門>

「内容について」が40点、「アナウンスの技術について」が60点で合計100点です。

失格行為

- ・提出物(音源、原稿、あらすじ)のいずれかが欠けている
- ・提出された原稿と音源との間に本文の相違がみられる
- ・規定時間(1分30秒～2分)が守られていない
- ・規定外の作品を朗読する(青空文庫以外の作品、青空文庫内でも朗読を禁じられている作品等)
- ・原稿の改変(文の途中から抽出、脱落等)がある
- ・音源に何かしらの加工(音声チェンジャー、編集等)があった場合

内容について(全40点)

①作品の選定(20点)

朗読に向く作品、技量や声の質に見合った作品かどうか判断。

朗読に向かない作品を選ぶ⇒-5～10
技量に見合わない作品を選ぶ⇒-5
声質に見合わない作品を選ぶ⇒-5

②抽出の仕方(20点)

抽出箇所のみで物語が成立し、話の流れや登場人物を把握できるか判断。

会話文と地の文の割合も確認する。
(地：会話は7：3～8：2程度の割合)

抽出箇所のみで作品が成立しない⇒-10
抽出した意図が伝わらない(抽出箇所内のストーリー性がない)⇒-1～5
地の文と会話文の割合が適当でない⇒-5
登場人物の人数が適当でない⇒-5
始まり方、終わり方が適当でない⇒それぞれ-3

朗読の技術について(全60点)

③発声(7点)

声が出ているか、場面の雰囲気にあった声づくりをしているか判断。

ぼそぼそ声である⇒-5
声のボリュームにばらつきがある(表現として成立していれば除外、環境上の問題だと判断できる場合も除外)⇒-3
声を前に届けようという意識を感じられない⇒-3
全体を通して場面の雰囲気に合う声作りができていない⇒-3

④発音(7点)

項目名通り、甘噛みや吹かれ等発音の甘さや違和感はないか判断。

甘噛み、吹かれ、発音できていない等、違和感あれば各⇒-2

⑤アクセント(7点)

アクセント辞典を確認しながら正しい

アクセントか判断。

アクセントの間違ひがあれば各⇒-2

⑥内容把握 (9点)

物語の大筋を把握して朗読しているかをあらすじとあわせて判断。

登場人物の性格、場面の雰囲気をつえ、情景が容易に思い浮かぶかを声色やトーンを中心に評価する。

原稿内の動き(映像)を全く想像できない⇒-6

原稿内の動き(映像)が途中でちぐはぐになる⇒-3～5

あらすじと全く一致しない読みである⇒-5

あらすじと少しずれた読みである⇒-2

登場人物の読み分けができていない⇒-4

地の文と会話文の区別がつかない⇒-4

⑦テンポ (8点)

読む速度が適切かどうか判断。

特に間延びしていないかを確認する。

読むテンポが明らかに早い or 遅いため、聞き取れない⇒-8

読むテンポがやや早い or 遅いと感じ、違和感がある⇒-5

一部読むテンポが早すぎる or 遅すぎる⇒-3

終始テンポが一緒⇒-5

⑧イントネーション (7点)

「始高終低」「頭高尾低」「読み下し」ができていないか判断。

文中でうねったり、何度も高い音で入り直したりするのは基本 NG だが例外もある。(方言など)

始高終低が完全にできていないと判断できるもの⇒-6

うねりが多数見られる場合⇒-5

文中何度も高い音で入りなおす⇒-4 (違和感なければ除外)

一部うねりがあった場合各⇒-1

⑨ポーズの取り方 (8点)

聞いていて心地の良い間か、物語が理解できる間かどうか判断。

会話文と地の文の間、場面転換の間、心情文と情景文の間等を確認する。

ポーズが全くない⇒-7

ポーズが足りない or ありすぎと感じる箇所が多数見受けられる⇒-5

ポーズが足りない or ありすぎと感じる箇所が一部ある各⇒-1～2

ポーズはあるが、情報をかみ砕くのに適切な間でない、相槌を打ちづらいような間である⇒-3～5

ポーズが均一⇒-5

⑩プロミネンス (7点)

重要な言葉が強調されているか判断。

物語の流れ、登場人物、心情、状況が際立って聞こえてくるかを確認する。

固有名詞、原稿においてのキーワードが強調されていない、伝わらない⇒-6

一部強調欠けている各⇒-2

番組部門について

「コロナ禍」の中で社会は「3密」を避ける、「ソーシャルディスタンス」を守ることが求められ部活動はおろか学校の再開もままならない放送部員も多いかと思います。

そんな状況のなかテレビ局やラジオ局はリモート収録など可能な限りの技術を活かし、製作活動をしています。

Nコンが中止になった今、皆さんの製作活動の発表の場を設けられないかと協議を続け

- ・参加を考える皆さんの安全の確保
- ・地域ごとの公平性を可能な限り担保する。

その2点を重視した結果、我々は「製作の全ての過程において自宅内で完結する」方向であれば大会を開催できると判断しました。

本来であれば、ドラマ・ドキュメンタリーにかかわらず今まで製作した作品の発表の場にするべきであるとは考えますが、現実的に問題が山積していますので、このような形となりました。

そのため、作品に使われる素材は新しく撮影・収録していただく必要があります。

その点を、ご了承ください。

1. 審査方法

(1) 予選、準決勝は非公開による審査、決勝は生放送での公開審査も考えています。

(2) 全ての審査において講評は後日、送信します。

2. 規定違反について

コンテストの規定に違反があった場合は失格を含め、減点の対象とする。

重大な規約違反に関しては賞を授与した後でも取り消しの処置を行う。

規定違反の例としては、

フリー素材の記載漏れ、著作物の盗用、不適切な表現、時間規定違反、文字数規定違反などがあげられる。

3. 注意点

(1) 当コンクールに出品した作品は他のコンクールに出品することができなくなる可能性があるので注意すること。

(2) 出品した作品は YouTube 等を通じて公に公開する可能性がある点を留意すること。

(3) 団体のみではなく個人参加でも構わない。

4. 審査員について

審査員は後日発表します。

(全国大会出場経験のある OB、OG やプロをお招きして行いたいと考えています。)

5. 予選

エントリーの際に振り分けられた ID を利

用し、ランダムにつくられたブロックに振り分け(ブロック数、ブロックの人数は参加規模により変動します)、各ブロックの上位 3 作品が準決勝へ進出することとする。(30 作品程度を目安に絞ります。)

※参加人数により変動あり。

6. 準決勝

上位 10 作品が決勝へ進出

※参加人数により変動あり

7. 決勝

最優秀賞 1

優秀賞 3

奨励賞 6

※参加人数により変動あり

番組担当 佐藤将

ホームページ：<https://lovebc2020.jpn.org/>

テレビドキュメント部門 規定および審査について

1. 規定

(1) 3密を徹底して避け、その制限を生かして製作された独創的な作品であること。

(2) 制限時間は8分以内下限なし。
作品の前後には5秒ずつテストパターンとして、
・個人の場合は個人名（ニックネーム）
・団体の場合は団体名
を入れること。

学校名（放送部・放送委員会等も含む）は入れなくてよい。

(3) 計時は、初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする。

(4) 音楽や効果音（BGM、SE）
インターネット上のフリー素材、音源に関しては実行委員会が確認をとったサイトのみ認めるが、別途書類に記載すること。

(5) 作品制作の全ての過程において自宅内で完結させること。違反が発覚した場合は失格とする。

（緊急事態宣言以前の素材であっても証明ができないため使用不可）

(6) 映像はmp4（推奨）、movで提出すること。アスペクト比は問わない。ファイル名は「参加者ID_タイトル」にすること。

(7) 応募は公式HPより行うこと。

(8) 取材協力者・出演者には後日公開され

る取材者向けHP見てもらい、簡易CUEシートに連絡先（メールアドレス、電話番号など）を記入すること。

(9) 提出書類は応募フォームから、ファイルとして提出すること。

- ・著作物一覧表
- ・簡易CUEシート

2. 審査基準

(1) 「家から出られない中で、放送に携わるものとして、どのようなものを作るか」工夫した内容であること。

(2) 審査の視点

A. 企画・内容

- (ア) 自宅内で、撮影・制作可能な素材の中から適切なものを求め効果的に表現しているか。
- (イ) (ア)の制限を生かしたテレビ・ラジオの特性を活かした作品になっているか。

B. 制作技術

- (ア) 構成・演出
- (イ) 自宅内完結という制限を活かす方法や努力
- (ウ) 技術
 - ・最低限の撮影、録音の技術
 - ・編集の技術
 - ・音楽や効果音の使い方
 - ・自宅内で完結させる努力

(3) 点数はAを50点満点、Bを50点満点の合計100点満点とする。

ラジオドキュメント部門 規定および審査について

1. 規定

(1) 3密を徹底して避け、その制限を生かして製作された独創的な作品であること。

(2) 制限時間は8分以内下限なし。

作品の最後に、

- ・個人の場合は個人名（ニックネーム）
- ・団体の場合は団体名

を入れること。

学校名（放送部・放送委員会等も含む）は入れなくてよい。

(3) 計時は、初めの音から、クレジットコールの終わりまでとする。

(4) 音楽や効果音（BGM、SE）

インターネット上のフリー素材、音源に関しては実行委員会が確認をとったサイトのみ認めるが、別途書類に記載すること。

(5) 作品製作の全ての段階において自宅内で完結させること。

違反が発覚した場合は失格とする。

（緊急事態宣言以前の素材であっても証明ができないため使用不可）

(6) 音声は mp3、wav、m4a のいずれかで提出すること。ファイル名は「参加者 ID_タイトル」にすること。

(7) 応募は公式 HP より行うこと。

(8) 取材協力者・出演者には取材者向けHPを見てもらい、簡易 CUE シートに連絡

先（メールアドレス、電話番号など）を記入

すること。

(9) 提出書類はエントリーフォームから、ファイルとして提出すること。

- ・著作物一覧表
- ・簡易 CUE シート

2. 審査基準

(1) 「家から出られない中で、放送に携わるものとして、どのようなものを作るか」工夫した内容であること。

(2) 審査の視点

A. 企画・内容

(ア) 自宅内で 収録・制作可能な素材の中から適切なものを求め効果的に表現しているか。

(イ) 上記の制限を生かしたテレビ・ラジオの特性を活かした作品になっているか。

B. 制作技術

(ア) 構成・演出

(イ) 自宅内完結という制限を活かす方法や努力

(ウ) 技術

- ・最低限の撮影、録音の技術
- ・編集の技術
- ・音楽や効果音の使い方
- ・自宅内で完結させる努力

(3) 点数は A を 50 点満点、B を 50 点満点の合計 100 点満点とする。

テレビドラマ部門 規定および審査について

1. 規定

(1) 3密を徹底して避け、その制限を生かして製作された独創的な作品であること。

(2) 脚本は参加資格を有する生徒のオリジナル作品であること、文芸作品などからの脚色や改作は認めない。

(3) 制限時間は8分以内下限なし。
作品の前後には5秒ずつテストパターンとして、

- ・個人の場合は個人名（ニックネーム）
- ・団体の場合は団体名

を入れること。
学校名（放送部・放送委員会等も含む）は入れなくてよい。

(4) 計時は初目のテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとする。

(5) 音楽や効果音（BGM、SE）
インターネット上のフリー素材、音源に関しては実行委員会が確認をとったサイトのみ認めるが、別途書類に記載すること。

(6) 作品制作の全ての段階において自宅内で完結させること、違反が発覚した場合は失格とする。

（緊急事態宣言以前の素材であっても証明ができないため使用不可）

(7) 映像はmp4（推奨）、movで提出すること。ファイル名は「参加者ID_タイトル」にすること。

(8) 応募は公式HPより行うこと。

(9) 提出書類はエントリーフォームから、ファイルとして提出すること。

- ・著作物一覧表
- ・簡易 CUE シート

2. 審査基準

(1) 「家から出られない中で、放送に携わるものとして、どのようなものを作れるか」工夫した内容であること。

(2) 審査の視点

A. 企画・内容

(ア) 原作・脚本・演出にオリジナリティがあるか。

(イ) テレビの特性を活かした作品になっているか。

(ウ) 自宅内完結の意味を重視していること。

B. 制作技術

(ア) 構成・演出

(イ) 自宅内完結という制限を活かす方法や努力

(ウ) 演技

(エ) 技術

- ・最低限の撮影、録音の技術

- ・編集の技術

- ・音楽や効果音の使い方

- ・自宅内で完結させる努力

(3) 点数はAを50点満点、Bを50点満点の合計100点満点とする。

ラジオドラマ部門 規定および審査について

1. 規定

(1) 3密を徹底して避け、その制限を生かして製作された独創的な作品であること。

(2) 脚本は参加資格を有する生徒のオリジナル作品であること、文芸作品などからの脚色や改作は認めない。

(3) 制限時間は8分以内下限なし。
作品の最後に、
・個人の場合は個人名（ニックネーム）
・団体の場合は団体名
を入れること。
学校名（放送部・放送委員会等も含む）は入れなくてよい。

(4) 計時は、初めの音から、クレジットコールの終わりまでとする。

(5) 音楽や効果音（BGM、SE）
インターネット上のフリー素材、音源に関しては実行委員会が確認をとったサイトのみ認めるが、別途書類に記載すること。

(6) 作品製作の全ての段階において自宅内で完結させること。

違反が発覚した場合は失格とする。

（緊急事態宣言以前の素材であっても証明ができないため使用不可）

(7) 音声は mp3、wav、m4a のいずれかで提出すること。ファイル名は「参加者 ID_タイトル」にすること。

(8) 応募は公式 HP より行うこと。

(9) 提出書類はエントリーフォームから、ファイルとして提出すること。

- ・著作物一覧表
- ・簡易 CUE シート

2. 審査基準

(1) 「家から出られない中で、放送に携わるものとして、どのようなものを作るか」工夫した内容であること。

(2) 審査の視点

A. 企画・内容

(ア) 原作・脚本・演出にオリジナリティがあるか。

(イ) ラジオの特性を活かした作品になっているか。

(ウ) 自宅内完結の意味を重視していること。

B. 制作技術

(ア) 構成・演出

(イ) 自宅内完結という制限を活かす方法や努力

(ウ) 演技

(エ) 技術

・最低限の、録音の技術

・編集の技術

・音楽や効果音の使い方

・自宅内で完結させる努力

(3) 点数は A を 50 点満点、B を 50 点満点の合計 100 点満点とする。

脚本部門 規定および審査について

1. この部門について

自宅内で撮影・収録・編集ができない、製作したい作品が自宅内で完結というルールでは製作することができない。

そのような参加者のために設けられたオリジナル部門です。

2. 規定

(1) コロナ禍の中3密を徹底して避け、その制限を生かして制作された独創的な作品であること。

(2) 脚本は参加資格を有する生徒のオリジナル作品であること、文芸作品などからの脚色や改作は認めない。

(3) タイトルを除いて3300字以内の作品とする。

(4) 別途のキャラクター設定表にキャラクターの設定を記入すること。また、映像音声のどちらかを想定して書かれた脚本かを記入して書くこと。

(5) 柱、セリフ、ト書きの3点のみで書くこと、それ以外の記述は減点の対象とする。

(6) 応募は公式HPより行うこと。

(7) 提出書類はエントリーフォームから、ファイルとして提出すること。

- ・脚本
- ・キャラクター設定表

3. 審査基準

(1) 放送という特性を活かし、伸び伸びと表現している、高校生に向けた内容であること。

(2) 審査の視点

A. 企画・内容

(ア) 独創的でオリジナリティのある企画か。

(イ) 脚本の世界観を裏付けする取材をしているか。

B. 制作技術

(ア) 伝えたいことを伝えるために構成できているか。

(イ) 視聴者を飽きさせない展開にする工夫があるか。

C. 作り込み

(ア) キャラクターの設定と行動、セリフに違和感はないか。

(イ) ト書きが正確に伝わるか。

(3) 点数はAを50点満点、Bを50点満点、Cを50点満点の合計150点満点とする。

みんなで放送コンテスト2020要項

2020年5月9日第1稿 [仮]

メール：bc2020@lovebc2020.jpn.org

アナウンス・朗読部門

田倉優美、河端陽菜乃、谷口伊織、大和沙耶香

テレビ・ラジオ部門

佐藤将、小畑尚史、るいさん

総務・いろいろ

まる、小畑尚史、梶 知聖、石井陽香、松永大和



ロゴ・デザイン：たけのこ

©2020 lovebc & Executive Committee

lovebc

© 2020 lovebc & takenoko